

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 2 区分

【発行日】平成20年11月6日(2008.11.6)

【公開番号】特開2002-181276(P2002-181276A)

【公開日】平成14年6月26日(2002.6.26)

【出願番号】特願2001-290339(P2001-290339)

【国際特許分類】

F 1 6 L 55/00 (2006.01)

F 0 1 D 25/00 (2006.01)

F 0 1 D 25/32 (2006.01)

F 0 2 C 9/00 (2006.01)

F 0 2 K 3/06 (2006.01)

F 1 6 L 55/24 (2006.01)

F 1 7 D 1/02 (2006.01)

【 F I 】

F 1 6 L 55/00 J

F 0 1 D 25/00 H

F 0 1 D 25/32 C

F 0 2 C 9/00 A

F 0 2 K 3/06

F 1 6 L 55/24 Z

F 1 7 D 1/02

【手続補正書】

【提出日】平成20年9月22日(2008.9.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 直径を構成する内部通路（28）を有する空気圧管路（22）における、前記内部通路（28）の内側に形成されるオリフィス（26，42）であって、

前記内部通路（28）の直径よりも小さい直径を構成する第 1 部分（30，44）と、次第に増大する直径を構成する第 2 部分（32，46）と、

を含み、

前記第 2 部分（32，46）は、前記空気圧管路（22）に形成されるドレン穴（34）に面することを特徴とするオリフィス（26，42）。

【請求項 2】 前記第 2 部分（32，46）は、円錐形開口を構成することを特徴とする請求項 1 に記載のオリフィス（26，42）。

【請求項 3】 前記オリフィス（26，42）は、前記内部通路（28）と同軸方向に配置されることを特徴とする請求項 1 に記載のオリフィス（26，42）。

【請求項 4】 ガスタービンエンジン（10）に用いられ、直径を構成する内部通路（28）を有する圧縮機吐出圧管路（22）における、前記内部通路（28）の内側に形成されるオリフィス（26，42）であって、

前記内部通路（28）の直径よりも小さい直径を構成する第 1 部分（30，44）と、

第 1 及び第 2 端部を有し、該第 1 端部は前記第 1 部分（30，44）に隣接しており、前記第 1 端部では前記第 1 部分（30，44）の直径に等しく、また前記第 2 端部では前記内部通路（28）の直径に等しい、次第に増大する直径を構成する第 2 部分（32，4

6) と、
を含み、

前記第 2 部分 (3 2 , 4 6) は、前記圧縮機吐出圧管路 (2 2) に形成されるドレン穴 (3 4) に面することを特徴とするオリフィス (2 6 , 4 2)。

【請求項 5】 前記第 2 部分 (3 2 , 4 6) は、円錐形開口を構成することを特徴とする請求項 4 に記載のオリフィス (2 6 , 4 2)。

【請求項 6】 前記オリフィス (2 6 , 4 2) は、前記内部通路 (2 8) と同軸方向に配置されることを特徴とする請求項 4 に記載のオリフィス (2 6 , 4 2)。

【請求項 7】 前記オリフィス (2 6 , 4 2) は、前記圧縮機吐出圧管路 (2 2) の破損個所からの空気放出を制限する絞りオリフィス (2 6) であることを特徴とする請求項 4 に記載のオリフィス (2 6 , 4 2)。

【請求項 8】 前記オリフィス (2 6 , 4 2) は、前記圧縮機吐出圧管路 (2 2) の 1 端に形成されたマニホールド・オリフィス (4 2) であることを特徴とする請求項 4 に記載のオリフィス (2 6 , 4 2)。